

天から  
恋に墮ちる

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

わたしは少し大人になった

それはきっと  
出会いは人を  
変えるからで

Connect!

※画像はイメージです

あれから培ったつながりは  
かけがえのない宝物になっ

それは天界にとっても価値のあるもので  
下界との「健全な」関係は  
いつしかわたしを介するものになって

責任と誇りの狭間では  
もう少女のままでは  
いられなくて

そして

何より



彼がわたしを

♡...♡

♡ん♡ん

♡...♡

♡ん♡ん

♡ん♡ん

♡ん♡ん

女にしてくれた  
からだろう

♡ん♡ん

♡ん♡ん

♡ん♡ん

♡ん♡ん

♡ん♡ん

A blue-haired anime girl with large breasts and a peach branch on her hat. She is wearing a white top and a dark skirt. The background is pink with lace patterns and hearts.

-contents-

天から恋に堕ちる

p.3

ゲストページ

p.14

T/A Abstract

p.16

あとがき

p.17



もうこんなに……♡

ちゅ♡  
ちゅ♡

れろ♡

んっ……♡

教えてくれた

彼はたくさんのお話を



今日もいっぱい  
愛して……♡

うん……

んっ……♡

ちゅ♡

政治も、学問も、恋心も  
——何より、女の悦びも



もう、えっちなことしか  
考えられなくなっちゃう……♡

ちゅ♡  
ちゅ♡

ちゅ♡

嬉しい♡

気持ちいい？

だから今ではもう、この  
淫しいオスの匂いだけで



んっ♡

ちゅ♡  
ちゅ♡

ちゅ♡

んっ♡



欲しい……♡  
おちんぽ欲しいっ……♡

♡♡

ちゅ♡  
ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡  
ちゅ♡

このおつきな  
おちんぽで……♡

あなたのこと、もっと  
好きにさせてえ……♡

ちゅ♡  
ちゅ♡



もう……おまんこ  
あなた専用にな  
つちやつてる……♡

おまんこが  
恋しちゃってるの……♡

ちゅ♡

ぽ♡

♡

ちゅ♡

んちゅ♡

ちゅ♡

ぽ♡

おに♡

おに♡

おに♡

ん……♡  
あんっ……♡  
キス……気持ちいい……♡  
とろけちゃう……♡

♡

キス♡

♡

ぽ♡

ぽ♡

ぽ♡

ずちゅ♡  
ずちゅ♡

ずちゅ♡

好き……好き……♡  
だいしゅき……♡

ちゅ♡  
ちゅ♡  
ちゅ♡  
ちゅ♡







好き♡  
好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡

好き♡  
好き♡  
好き♡







あゝゝゝ

あゝゝゝ  
あゝゝゝ  
あゝゝゝ

あゝゝゝ  
あゝゝゝ

あゝゝゝ

あゝゝゝ

あゝゝゝ  
あゝゝゝ  
あゝゝゝ

あゝゝゝ  
あゝゝゝ

あゝゝゝ  
あゝゝゝ

あゝゝゝ  
あゝゝゝ  
あゝゝゝ

あゝゝゝ  
あゝゝゝ  
あゝゝゝ

いっぱい  
出たね……♡  
嬉しい……♡

好き……♡  
大好きだよ……♡



あなたのためだから  
いやらしくて  
えっちな女の子に  
なれるんだよ……♡

また……いっぱい  
えっちしようね……♡



わたしの心も体も……  
全部あなたのものだから……♡





おちんちん♡♡♡

ぱんぱん♡

すっぴん♡♡

ぱんぱん

すっぴん♡♡

ぱんぱん

はっ♡

はっ♡

すっぴん♡♡

すっぴん♡♡

ちんこ

ちんこ

ちんこ



# T/A Abstract #2

絵が上手になりたいの？ それとも、使える絵が描きたいの？

どうやら無事に第二回をお送りすることができそうです。春海です。  
まだ抜いてない方、是非こんなところを読んでないで次のおかずをお探しくさいます。  
賢者タイムの方、お使いいただきありがとうございます。お暇であればお付き合いくださいませ。  
今回のテーマは……そうですね。「絵の話」。

……で、しょっぱなから身も蓋もないことを書きちゃいますが、僕、こう、絵が下手くそですよ？  
まあ下手なんですよ。間違いなく。  
描けるものが少ないことをひとまず置いておくとしても、けどそれでも、女の子の裸ですら。  
少なくとも僕は不満だし、描いてる間も自己嫌悪に陥ることはしょっちゅうです。  
いや、価値がないとは言わんのですよ？  
それでは今までに「僕の絵が好き」と仰ってくれたすべての人に対する冒涇になってしまいます。  
それはいけない。  
それだけはいけない。  
僕は僕の絵が好きだと思っています。それは間違いなく。胸を張って言える。  
この話はそういう部分ではなくて、もうちょっと、客観的なところで……ああもう、上手く言えないですね。

単純にそれは、いわゆるデッサンの話であったり。  
表現の話だったり、センス的な話なのかもしれません。  
正直なところ、僕は「何故下手なのか」ちゃんとわかってないんですね。  
だからなかなか上手にならないし、同じ場所をうろうろするだけなのでしょう。  
お絵描きに出会って5年くらいかな。未だに素人のようなものです。  
学生生活も終わる頃、何を思ったかペンタブとフォトショを買ってきて。  
ノートパソコンの酷いディスプレイで、狂った色調のまま四苦八苦していたのを覚えています。  
特に絵の勉強をしてきたわけでもない。スケブの山を築くようにたくさん描いてきたわけでもない。  
——お絵描きが、好きだったわけでもない。

あ、ここが一番大きいかもしれませんね。  
描くという行為自体に価値を見出すことができていない。苦痛を伴う作業。  
だから何故僕が絵を描き続けられるかといったら、やっぱりこうなるのかなあ。

えっちなことが好きだから。  
えっちなイラストが好きだから。

思えばスタートラインは、えっちなイラストの描き手に憧れたことだったかもしれません。  
絵が描きたかったのではなく、描き手になりたかった。目的ではなく、手段。  
あ、これアレですね。ゲームとか出版業界に就職して失敗する考え方の例。  
「やりたい」ではなく「なりたい」で選ぶことの危険性といったらもう。  
それでも僕がここまで続けられて、同人の世界に踏み込むことができたのは。  
見てもらうことが、手にとってもらうことが、使ってもらうことが、こんなにも嬉しいからに違いないです。

だから冒頭の問いには、迷わず後者を選ぶんです。  
崩れが気にならない最低限の画力があればいい。あとは使えるかどうかにか全力を捧げればいい。  
そしてあとは、むちむちの媚肉とらぶらぶえっちを愛する誰かに使っていただくことができたならば。  
僕にとって、それ以上の幸せはないのです。  
至福のひとつですもんね、抜いてるときって。それに貢献できるんです。光栄ですよ。

だから、できれば、教えてくださいね。  
使えたこと、使いにくかったこと。僕にとってはそれが目的だから、一生懸命がんばれる点です。  
僕はもっと、使える絵が描きたい。

あとがき

お馴染みの皆さま、お世話になっております。初めての方、はじめまして。  
二冊目の個人誌となります。この本を手にとっていただき、本当にありがとうございます。  
初めての本から7ヶ月、どうやら何とか続けていくことができそうです。  
毎日の暮らしは厳しいですが、こんな喜びを知ってしまったら、もう頑張るほかにありませんね。  
たくさんの睡眠時間を犠牲にして完成までこぎ着けた一冊ですが、気に入っていただけましたら幸いです。

前作で得た課題を少しでも解決しようと足掻いてみましたが、いかがでしょうか。  
僕の中ではうまくできたりできなかったりと色々あるのですが。  
結局客観的に「これはどうなのかな」と思う部分がどこかは分からずじまいで、難しさを感じます。  
まあ、いくら考えたところで、結局は「僕がいいと思うものをつくる」ことしかできないんだと思います。  
その結果、それに同意していただける方の手に渡ればいいなと。切に願うばかりです。

しかしカラーで「お話」を伝えようとするのは本当に難しいですね……。  
もっと上手い構成と作画速度があればなあと、ないものねだりをするばかり。  
一応前回の反省を踏まえて直球を投げようとしてみたのですが、冒頭1Pを差し替えたなら催眠本でも通じそうです。  
強い感情が向けられる動機がスカスカなのを、える本だからと自分をなだめて納得させるのでした。  
馴れ初めのページで抜くわけじゃないと理解はしていても、やっぱりちょっぴり寂しいのです。  
それも、天子ちゃんがとてとても魅力的な女の子だから、殊更に。

あの強烈な自我を、自信と誇りに満ちた感情を、もしもこちらに向けることができれば。  
真っ直ぐな敬意と恋慕というかたちにして、自分のものにすることができれば。  
それは最高に幸せなことだと確信するのです。最高にかわいい天子ちゃんと暮らしていけるに違いないのです。  
一般的な二次創作とは似ても似つかないですよ。  
これで本にしていいものか迷ったのですが、結局自分の趣味と性癖を信じることにしました。  
いわゆる普通とはかけ離れたから、聞き直っておっぱいもぶるんぶるんのたゆんだゆんに。  
天人だって老いるのです。ならば成長だってするのです。  
これが僕の、無敵にかわいいと思った天子ちゃんです。お口に合うようでしたら幸いです。

そんなわけで、これからも我儘に、自分勝手に解釈をして、本を出していこうと思うのです。  
気にせず使える！ と仰っていただけるならばこれ幸い、次回も全力でがんばります。  
そんなわけで、ご縁がありましたら次の本でお会いしましょう。  
それでは、また。

春海





天から恋に堕ちる

Date in vitro

春海

2012年12月30日 初版発行

<http://dateinvitro.blog.fc2.com/>

<http://www.pixiv.net/member.php?id=34474>

印刷:ねこのしっぽ様

<http://www.shippo.co.jp/neko/>

ゲスト:ジヨンちゃん(からえおれぐらたん)

<http://cafegrasakurane.jp/>

ちゅんこちゃん (Galerie.)

<http://galerie.blog.shinobi.jp/>

※本書の未成年者による購入、所持、閲覧を禁じます。

※本書の無断転載、無断複製、無断アップロード等はおやめください。



**TEAMAKATSUKI**  
**Dateinvitro**

December 2012